

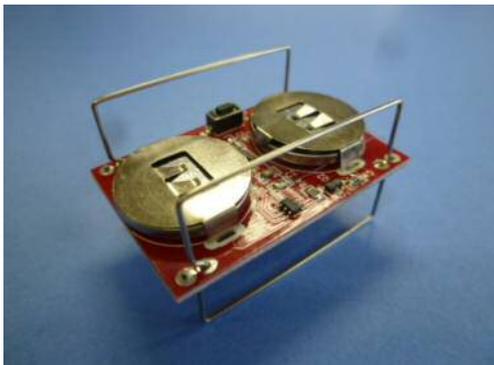
設備工事情報シート	衛生	Ⅱ-P-8-改 ₂	制定	2005年4月1日
			改訂	2015年3月1日
機器・材料	漏水検知		簡易型漏水検知器	

1. 目的・概要

集合住宅の施工件数が今なお増加傾向にある中で、高齢化、セキュリティ、情報化、リニューアルおよびコンバージョンなどの時代の要求の変化に対応するため、住宅の設備はますます複雑・高機能化しています。その一方で、メーカーごとに異なる施工要領および管理・指導の不徹底などがアフタークレームの原因になる場合があります。アフタークレームの中でも被害の大きい漏水は、集合住宅の給水、給湯、および暖房用配管として主に用いられている樹脂管(架橋ポリエチレン管、ポリブテン管)で多く発生する傾向が見られます。その理由は、施工不良があった場合、仕様書で規定されている一定圧の水圧試験だけではその箇所がすぐに判明しないからであり、ほとんどの場合、入居数ヶ月後に発生するケースが多く、問題へと発展する。脈動圧ポンプによる変動水圧試験などの対策も行われるようになりましたが、試験要領が確立されていないこと、コストが高いこと、短工期および人手不足などの問題もあり、万全とはいえません。

そこで、直接的対策とはいえませんが、漏水発生時の被害を最小限に抑えるために入居後の床下漏水発生を音で入居者に知らせる簡易型漏水検知器を紹介します。

2. 製品概要



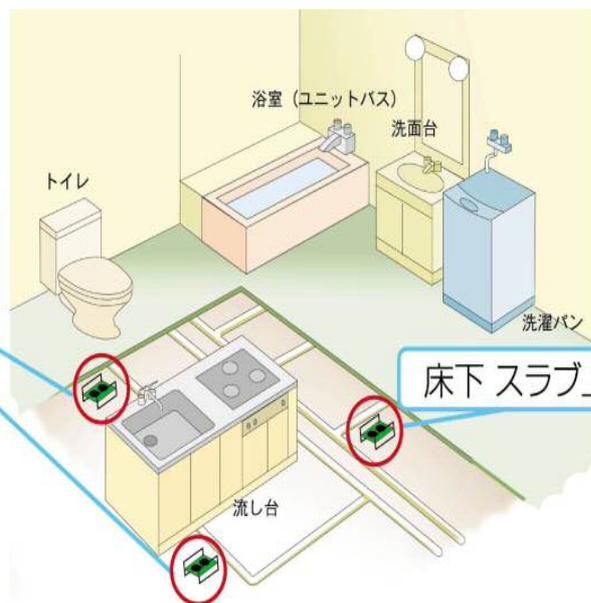
簡易型漏水検知器の外観

● 主な仕様

- ・ボタン型電池使用
- ・電池寿命 1年以上
- ・ブザー鳴動時間 約12時間(15~20秒間隔)
- ・ブザー停止スイッチ付
- ・本体寸法:45mm×30mm×25mm
- ・特許取得済

注意：電池寿命ブザー鳴動時間は設置状況によって変わります。

3. 設置場所



給水管、給湯管、排水管など近く

床下スラブ上

簡易型漏水検知器の主な設置場所

簡易型漏水検知器は水場廻りの点検可能な場所に設置する。

[主な設置場所]

- ◎給水、給湯ヘッダーの設置場所
- ◎洗濯機パンの点検口の下
- ◎流し台の下 など

[取り扱い方法]

- ①内装工事完了後、床下スラブ上に設置する。
- ②設置後、電池養生シートを外す。
- ③スラブに電極が接するように水平に設置する。
- ④鳴動テストの際にブザー音を止める場合、スイッチ(黒)を押して止める。

簡易型漏水検知ブザー

マンションでは、床下配管の漏水など、思わぬ水の流出事故によって、内装材や家具、ひどい場合は下階の住戸にまで大きな被害を及ぼすことがあります。

簡易型漏水検知ブザーは、いつどこで発生するかわからないこのような漏水などの事故を初期の段階で発見し、ご入居者に漏水のお知らせを行い被害を最小限に食い止めます。

見えない天井・床下の漏水を**すばやく**発見!

みずもれ検太郎は
配線、取付不要!
配管の下に
置くだけです!



早期水漏れ対策を!

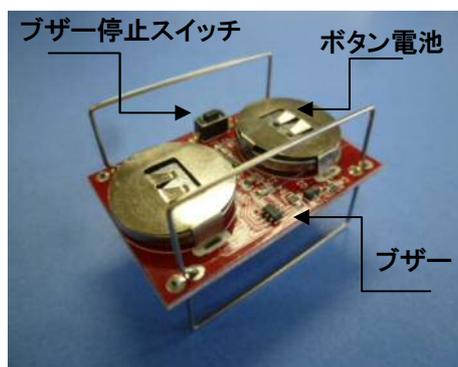


天井・床下の給水管
および給湯管などの漏水は、
建物の新築当初の入居直
後に多く発生していますが、
漏水発生初期の発見は困
難とされ、漏水を発見した
時には、既に相当な被害が
生じています。

もし、簡易型漏水検知ブザーが鳴ったら!

● 設置場所(床下)近くで「ピー!」という音が聞こえたら...

- すぐに、床下点検口を開けてスラブ上の状況を確認して下さい。
- 大至急、管理会社に連絡して下さい。
- 水が溜まっていたら、以下の緊急処置を行って下さい。
(水道メーター横の給水バルブを閉めて下さい。洗濯機、流し、浴室などの排水は一次、お止め下さい。)
- ブザーが鳴っていても水が溜まっていないことが確認されたら、誤作動の場合が考えられます。本体のブザー停止スイッチを押していただき、確認の為に管理会社に必ずご連絡ください。
- 継続使用される場合には、ご入居者ご自身に電池交換していただくことが必要です。



● 主な仕様

- ・ボタン型電池使用
- ・電池寿命 1年以上
- ・ブザー鳴動時間 約12時間(15~20秒間隔)
- ・ブザー停止スイッチ付
- ・本体寸法:45mm×30mm×25mm
- ・特許取得済

4. 問い合わせ先

ユーシン株式会社 電話045(935)5599